



奈良大学所蔵図書にみる 朝鮮半島史二千年 (2022年度第4回 図書館企画展示)

CROSS OVER

史学科 准教授 山崎 岳

朝鮮半島は、歴史的に日本ともっとも関係の深い隣国といつてよいでしょう。稲作農業をはじめ、和式の衣食住、それに漢字・仏教など、日本の伝統文化の基本となる要素は、いずれもアジア大陸に起源をもちますが、直接には朝鮮半島を経由して日本に伝えられました。中世においても、木綿や陶磁、絵画や経典など、朝鮮半島からもたらされる文物は、当時の日本人の生活に、彩りと豊かさを添えてくれました。江戸幕府のいわゆる鎖国政策のもとでは、ほとんどの日本人が外国人と接触することなく一生を終えていく中で、朝鮮通信使は琉球使節とともに、実際に日本国内で目にすることができる数少ない異国の人々でした。

そんな朝鮮半島ですが、政治的には良好な関係を続けてきたとはいえません。いくたびかの国を挙げての戦争、境界地帯における紛擾・略奪、そして近代日本の植民地支配の歴史など、朝鮮半島との関係は、日本にとって他の国々とは異なる特別な意味をもっています。現在でも、北朝鮮はもちろん、韓国との関係においても、「歴史」と関わりの深いさまざまな問題を抱えています。そうした隣国の歴史について、私たちはどれほどのことを知っているのでしょうか。

このたび、『韓国文集叢刊』の収書を記念して、本館蔵書を通じて朝鮮半島の歴史をたどる展示会を開催することになりました。朝鮮半島の歴史を振り返るにあたっては、さまざまなテーマ設定がありますが、まずは朝鮮史になじみのない学生のみなさんを想定して、ひととおり朝鮮半島の通史をたどって見てもらうことにしました。展示資料および解説は、学術的な厳密さより、視覚的に楽しめ、理解しやすい内容を心がけたつもりです。

展示ケースはイロハ順に配置されており、おおむね時代順に通史をたどることができます。どうぞ最後まで楽しみながらご覧ください。

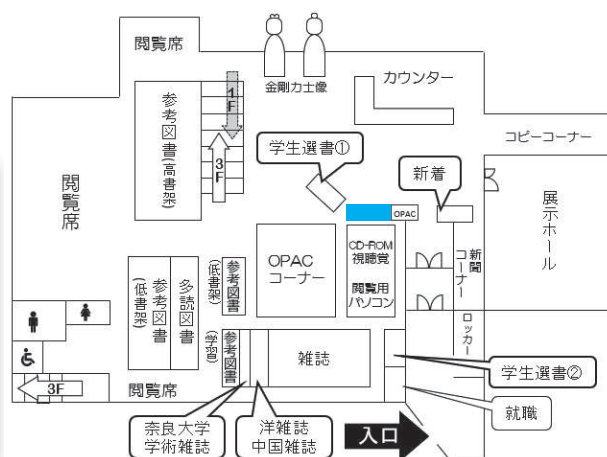


2022年度、一部資料の館内配置が変わりました。

2022年11月ごろより、7類のうち美術館図録を別置で配架することになりました。OPACでの所在は「美術館図録-1F」です。

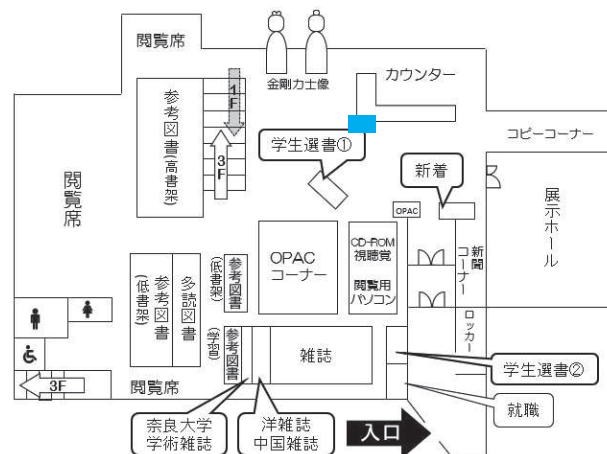


また、複写室の混雑解消のためベンチを複写室前に設置し、それに伴って官報ファイルと視聴覚資料一覧ファイルを置いていた棚を視聴覚資料閲覧コーナー前へ移動しました。感染症対策としての配置変更でしたが、利用者の皆様にも有効活用していただいております、今後もこの配置のままになります。

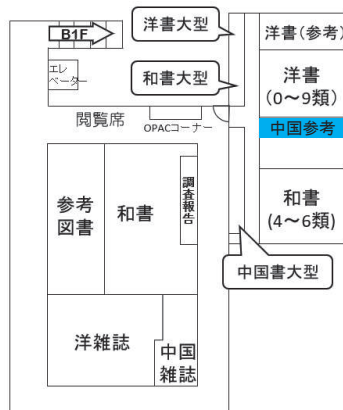


上記の移動に伴って、展示のミニコーナーを視聴覚資料閲覧コーナー横からカウンター左側へ移動しました。

貸出返却でカウンターにお立ち寄りいただく際、目を止めていただきやすくなりました。



その他、中国参考書をB2Fの集密書架へ移動しました。OPACでの所在は「中国書参考-B2F」です。『四庫全書』の移動や『韓国文集叢刊』の受入なども行い、集密書架の他の部分も様子が変わっていますが、詳しくは次の図書館報でご紹介します。



※その他中国書

調査報告…B2F(集密入り口前あたり)
大型 …集密の壁面

それ以外はこれまで通りB1Fです。

2022年度三二展示より

8月ごろ「自転車に乗って」

展示担当者より

夏休みなので、自転車に興味があるものの始めるきっかけがつかめない方、少し遠出したいと思われている方の参考にしていただければと企画しました。

おすすめの1冊

『関西ヒルクライムコースガイド：地元サイクルショップ・サイクリスト推薦の道』（291.6/Ka59）

ルートマップをQRコードで入手する方式のため詳細地図はありませんが、距離や高低差が掲載され、実走の参考になります。グルメ情報も載っており、旅行誌としてもお役立ちの1冊です。

12月ごろ「国の重要無形民俗文化財 春日若宮おん祭」

展示担当者より

2022年10月に完了した春日大社の摂社、若宮神社の式年御造替を記念して、毎年12月17日を中心に行われる「春日若宮おん祭」に関連する本を集めました。

おすすめの1冊

『おん祭と春日信仰の美術』（176/Ka79/2019）

例年、奈良国立博物館で開催されている展覧会図録。毎回テーマを設けて、おん祭りの魅力を紹介しています。過去の展覧会図録は「1F大型-奈良」や「1F-和書（069.9/N51）」にあります。

1月ごろ「人形浄瑠璃 文楽『良弁杉由来』」

展示担当者より

2023年は東大寺の開山良弁僧正の1250年御遠忌の年にあたり、大阪の国立文楽劇場では2023年1月3日から25日まで「良弁杉由来」が上演されていたため、関連資料を集めました。

おすすめの1冊

『あらすじで読む名作文楽50』（777.1/Ta29）

文楽に興味を持たれた方にまずはおすすめの1冊。2ページに1作品のコンパクトな紙面に名場面の写真と解説で、演目を分かりやすく紹介しています。

図書館統計（2022年3月末の集計）

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	増減
開館日数	237	221	▲ 16
入館者数	34,795	50,778	15,983
図書所蔵数	559,686	562,219	2,533
雑誌タイトル数	6,402	6,402	0
貸出総数	25,670	32,012	6,342
内 学生※	22,385	28,109	5,724
相互協力利用(依頼)	253	234	▲ 19
相互協力利用(受付)	673	796	123

※ 通信教育部生を含む

昨年度（令和3年度）は、まだ学外者の利用制限を行っていたため、入館者数は令和2年度よりは増加したものの、新型コロナウイルス流行前に比べると随分少ない数となりました。

それに対して相互利用の受付は増加しています。これは他の研究機関に対して提供を行った件数となり、感染症流行の影響を受けて減少したのは最近では令和2年度だけ、その時の減少も4件だけ、と年々増加傾向にあります。奈良大学図書館が、他に所蔵している図書館が少ない貴重な資料を収集しているためと考えられます。

学生の皆さま、地域利用の皆さまには、そのような貴重な資料も一部を除きご利用いただくことができます。図書館にどうぞお越しください。

編集後記

「みささぎ」第33号をお届けいたします。令和4年度は図書館の利用制限も緩和され、前年度より多くの方にご来館いただくことができました。館内の一部資料の配置変更やミニ展示のリニューアルなどを行いましたが、皆さんお気づきでしたか。紙面の都合上、全てを載せることはできませんでしたが、令和4年度に行ったいくつかのミニ展示を紹介させていただきました。

最後になりましたが、本誌発行にご協力をいただきました史学科山崎岳准教授には深く感謝いたします。

（編集担当）

発行：令和5年3月30日

編集：奈良大学図書館 奈良市山陵町1500